

● 地域医療連携推進業務

地域医療支援病院として、各医療機関との連携や質の向上を目指し、さまざまな講演会やセミナー、勉強会、交流会。さらには地元住民の皆さまを対象とした懇談会なども実施しています。

各種勉強会

● 押しかけ勉強会

地域の抱えるニーズに応じ、当院からの呼びかけにより行う勉強会。様々な専門職が直接地域に出かけて行き医療機関や施設の職員の皆様とともに学びあう場として開催しています。この勉強会により当院では気づかない問題を教えてもらえる機会ともなっており、相互交流を図る場としても貴重な勉強会となっています。

● 地域医療勉強会

地域の医療機関や施設の職員の皆様にスキルの向上を目的とした「地域医療勉強会」を定期的に開催しています。

松江赤十字病院地域連携交流会

年に一回地域の先生をお招きし講演と交流会を開催しています。病院内外から毎回100名以上のご参加を頂いています。



スキルアップセミナー

年に一回地域の医療従事者、施設職員の皆様などを対象とした「地域医療従事者スキルアップセミナー」を行っています。毎回100名以上のご参加を頂いています。



地域懇談会

地元住民の皆さまを対象に秦公平院長が直接地域に出かけ、松江赤十字病院の役割や課題などについてお話しし、意見交換をしながら相互理解を深めていく懇談会を随時行っています。



その他、「松江赤十字病院地域連携サイエンス漢方処方研究会」、「医学フォーラム」などの講演会も随時行っています。

第7回 地域医療従事者スキルアップセミナー

日時：2014年1月25日(土) 14:50~17:30
会場：松江赤十字病院 6階講堂

松江赤十字病院 地域医療連携課

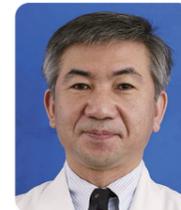
〒690-8506 松江市母衣町200番地
TEL 0852-32-7813 FAX 0852-27-9261



れんけい だより



新任ご挨拶



院長補佐
医療社会事業部長
大居 慎治

平成25年4月より院長補佐として医療社会事業部担当を拝命いたしました。ご挨拶を申し上げますとともに医療社会事業部のご紹介をさせていただきますと思います。

現在の松江赤十字病院の医療社会事業部は大きく分けて2つの機能があります。一つは救護班、検診、講演会、巡回診療、健康医学講座、母親学級、がんサロン、各種患者会などの支援をする社会事業係です。もう一つは医療ソーシャルワーカーや保健師、看護師が患者さんの様々な相談にのる医療相談係です。

戦後間もない昭和22年頃から医療施設が整っていない地区巡回診療が始まり同じ頃社会事業部が置かれ、昭和24年頃全国の赤十字病院に医療社会事業部が設置される先駆けであったそうです。その後我が国の発展に伴い医療施設も整備されましたが、専門医の少ない診療科については現在まで巡回診療が継承されております。また災害救護については、今でも山陰両県の水害や全国規模の大震災での活動が語り続けられているとおり歴史ある赤十字の特色の一つで、現在でも救護班3班を常備し有事に備えています。近年DMATによる統一した救護活動が組織されてきていますが、赤

十字独自の息の長い救護活動が、その輝きを失っていないことは東日本大震災での活動で証明されております。皆さんに広く知られている常時の活動としては健康医学講座や講演会などの啓発活動や患者会、母親学級などのピアグループのプログラムの方かもしれません。記録によりますとこれらも当初の衛生保健活動から時代とともに変遷してはおりますが、戦後間もない頃から現在に至るまでの活動の歴史を持っています。

一方、医療相談係は超高齢社会を迎えてとりわけニーズの高い部門で、松江地区でも早くから当院の医療ソーシャルワーカーが活動しておりました。病院と医療を取り巻く社会や施設、家庭、行政機関、介護サービスなどをつなぎ、患者さん中心の、その方らしい生き方が出来るように心がけております。近年深刻になりつつある児童虐待、高齢者虐待、ドメスティック・バイオレンス（DV）も公の機関や地域の活動と連携しつつ人として尊厳を持って暮らせるように最善の解決方法を探っております。

以上述べましたとおり、過去の諸先輩方の医療と社会をつなぐ努力と活動が地域社会からの現在の当院への信頼につながっていると思います。医療社会事業部は赤十字病院の特色の一つであり、職責を穢さぬように頑張る所存ですのでどうかよろしく願い申し上げます。

新任医師紹介



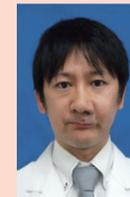
精神神経科
山梨 豪彦
10月1日付

10月より松江赤十字病院で勤務しております山梨豪彦です。島根県で仕事をするのは初めてですのではきっております。よろしくお願ひします。



整形外科
若槻 拓也
10月1日付

この度、松江赤十字病院に着任しました若槻拓也と申します。患者様のニーズに応えるよう、誠心誠意頑張ります。よろしくお願ひします。



整形外科
香川 亮介
11月1日付

以前より外傷・救急分野には興味があり、この度松江赤十字病院で仕事させて頂くという事で喜びと責任を痛感しております。安全・安心で確実な医療を届けられるよう頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

退職者

10月1日付 眼科 副部長 太根 伸浩

11月1日付 整形外科 医師 清村 真道

医療社会事業部について

医療社会事業部は医療社会事業課と地域医療連携課の二つがあります。
 医療社会事業課は「医療相談係」と「社会事業係」に分かれています。部長は大居慎治院長補佐です。
 地域医療連携課（地域医療連携室）は「地域医療連携係」があり、室長は漆谷義徳院長補佐です。
 平成24年度まで部長は一人でしたが、業務の範囲が多岐にわたることから、平成25年度より医療社会事業部長と地域医療連携室長の二人体制となりました。

医療社会事業課



ご存知かと思いますが、医療社会事業課は医療相談係と社会事業係の二つの係からなっています。
 メンバーと業務内容、実績を紹介させていただきます。



課長
杉谷 朗子



係長
奥 公明

● 医療相談係

業務内容は、退院支援・福祉相談・介護相談・DV・虐待にいたるまで、相談業務全般です。

退院支援に関しては、平成24年度総退院数11,823人のうち15.5%、1,836人（昨年度1,742人）に支援し、支援数は

増加しています。独居・高齢世帯・認知症・経済的問題等の相談員泣かせな支援が困難な方が増えてきています。

また、昨年度、児童・高齢者虐待、DV対策委員会が発足し、今年度マニュアルを改訂いたしました。迅速な対応ができるようになりました。

相談員は科別、病棟担当制にしています。社会福祉士6名、相談員1名です。患者・家族に寄り添い、入院中から生活全般を考えられる相談員になろうと日夜努力しています。



担当
柿本 可奈恵



担当
上田 崇平

● がん相談支援センター

がん相談だけでなく、がん予防啓蒙啓発活動も頑張っています。



係長
石橋 真一

● 社会事業係

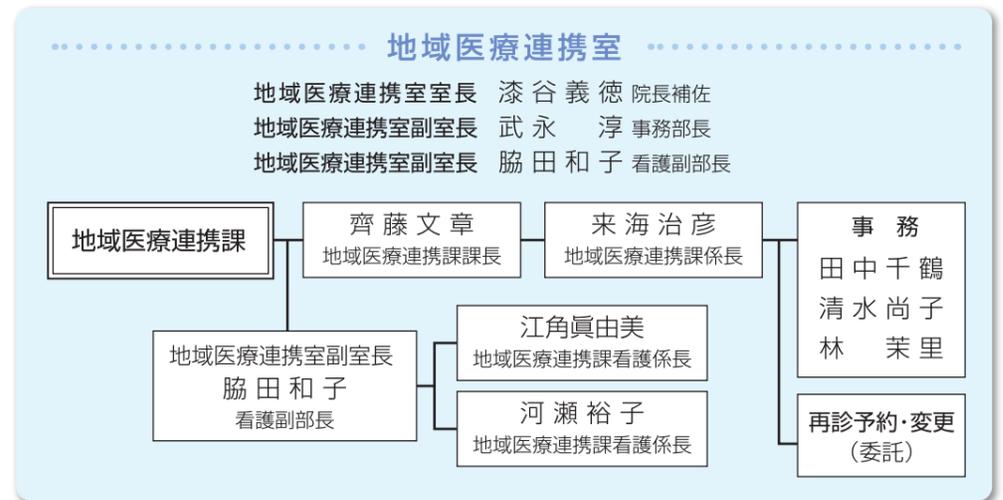
業務内容は、DMAT関連・ICLS・BLS、救護班関連・臨時救護、学校健診、巡回診療、介護保険（主治医意見書）、健康医学講座、母親学級など多岐にわたって社会活動に関する業務を行っています。



地域医療連携課



地域医療連携課では、病院・診療所などからの紹介患者さまの診療のお手伝いをさせていただいております。



● 紹介患者受付業務

連携先の医療機関からの紹介患者さまの診療予約業務を行っております。また、各医療機関からの様々な問い合わせに、安心と満足で応えられるよう努めております。平成24年度は約18,000件のご紹介をいただきました。

セカンドオピニオンの受付も行っています。

● 再診患者予約・変更業務

患者さまからの再診予約・変更も担当しています。常に真心をもって対応するよう心掛けております。

● 地域連携クリティカルパス

がん患者さまと地域のかかりつけ医の先生方との懸け橋として、がん地域連携クリティカルパスの調整役を看護師が行っています。また、脳卒中や大腿骨頸部骨折地域連クリティカルパスの事務支援を連携課では行っています。

● 開業医訪問

本院の医師や連携課の看護師、事務員が折に触れ訪問させて頂いております。

● 「れんけいだより」の発行

年に4回「れんけいだより」を発行しています。肩の凝らない内容で、地域医療連携のお知らせをしています。